

# 南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報

(急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 24 週 2026 年 6 月 8 日 ~ 6 月 14 日

## 今週のコメント

南丹保健所管内では、

**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が警報レベル継続中です。**

**水痘の注意報が発令されました。**

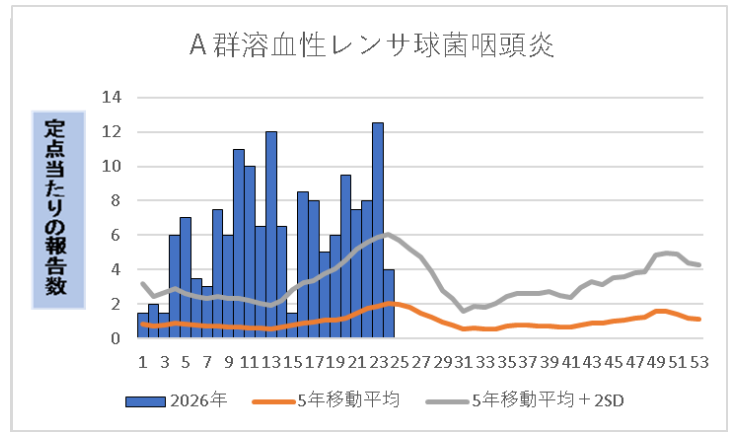
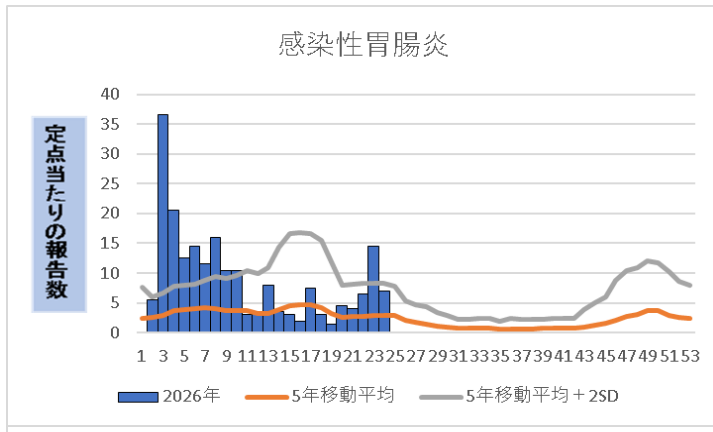
### 2026 年第 24 週の報告です。

○感染性胃腸炎の定点あたり報告数は、南丹 7.0(前週 14.5)、京都府 5.64(前週 6.44)となっています。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点あたり報告数は、南丹 4.0(前週 12.5)、京都府 3.51(前週 4.36)となっています。

○手足口病の定点あたりの報告数は、南丹 1.5(前週 0.0)、京都府 2.46(前週 1.18)となっています。

## 今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)



1 『5年移動平均』は、過去5年間の平均値の変化を表しています。

2 『5年移動平均+2SD』は、過去5年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

## 南丹保健所管内で、水痘の注意報が発令されました！

### 【水痘とは】

水痘(すいとう)とは、一般的に「みずぼうそう」と言われています。水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。空気感染、飛まつ感染、接触感染により広がり、その潜伏期間は感染から2週間程度(10日~21日)と言われています。9歳以下での発症が90%以上を占め、小児における合併症は、皮膚の二次性細菌感染、脱水、肺炎、髄膜炎、脳炎などがあります。成人での水痘も稀にみられますが、成人に水痘が発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いと言われています。

### 【症状】

発しんが出る前から発熱がみられ、赤い発しんが水ぶくれになり、やがてかさぶたとなって治ります。

### 【予防方法について】

水痘にはワクチンで予防できます。1回の接種で重症化をほぼ100%予防でき、2回接種により発症そのものを予防できると考えられています。また、家庭内ではうつりやすいため、水疱(水ぶくれ)に触れた後の確実な手洗いやタオルの共用を避けるなどの日常の感染対策も大切です。

水痘について、詳しくは[こちら\(厚生労働省\)](#)をご覧ください。

